

新生匠瑳戦略会議（小委員会） 会議録（概要版）

開催日時：平成24年11月10日（土）

午後2時15分～6時15分

開催場所：匠瑳市役所議会棟第2委員会室

出席委員：（学識経験者）渡辺新

（一般公募者）大塚榮一、岡田陽子、林暁男、八木幸市

（5人／名簿順）

欠席委員：（団体推薦者）萱森孝雄

（1人／名簿順）

市出席者：（事務局/企画課）小川課長、大木副主幹、富井副主査（3人）

◆小委員会の設置について（平成24年11月5日開催の戦略会議で了承済み）

目的…最終報告の原稿における構成・字句・表現などの修正作業を行う。

構成…渡辺新委員長、萱森孝雄委員、大塚榮一委員、岡田陽子委員、林暁男委員、
八木幸市委員

【 議 事 】

（1）提案書（最終報告）について

- ・本日は事務局に本文を朗読してもらい、一つひとつチェックしていきたいと思う。字句の訂正というよりは、大きな枠組みで全体の構成などを中心に意見を出していただきたい。
- ・『「記憶を消し去る」地域づくり』とあるが、これが何を指しているのかがわかりづらいと思う。
- ・『「記憶を消し去る」地域づくり』とは、大量生産・大量消費で、古いものは次々と消費してしまうという意味である。内容が伝わりにくかったかもしれないので、伝わりやすい表現に修正することとする。
- ・“built in Sosa”の表現については、わかりやすいように“made in Sosa”に改めることとする。
- ・「匠瑳の舞」、「ひかりねぎ」、「赤ピーマン」に比べて、「若潮牛」の説明が不足しているような気がする。いつから始まって、何人の農家で生産しているとか、他の項

目と同じような文章構成にした方がいいと思う。

- ふれあいパーク集客数の数値が違っていると思うので、データを見直す必要があると思う。
- 表4に掲載されている「植木銘木100選」の中には、すでになくなっていく（売られている）ものもあると思うが、出典を明記し、場合によっては注釈で対応したいと思う。
- 大手コンビニエンスストアの具体的な名称については、具体的な名称が入っていなければ意味が通じなくなってしまうわけではないので、「大手コンビニエンスストア」という表記に留めることとする。
- 「里山の現状」という項目で、本文前半に「里地」の説明が入っているが、里地はここでしか使われていない言葉なので、「里山」に統一し、里地は削除した方が読む人にとってわかりやすいと思う。
- 商店街のところでは、本文後半に、商店街では「店舗を貸すことに積極的ではない傾向にある」として、最後に「新しい店舗の導入、新陳代謝が重要である」と書いてある。それは当たり前なことなので、最後を「新しい店舗の導入、新陳代謝の道を探るべきである」とした方がいいと思う。
- 里づくり協議会のところで、以前、林業組合長の話を伺った限りでは非常に熱意を持っている印象を受けた。ただ、加入している組合員は、山の所有者がほとんどなので、それ以外の人を組織に加えていかなければ、いい活用方法は見つからないと思う。
- 商工会の予算の内訳は、国などから来る補助金がほとんどである。地元の人はお金に甘えてしまったりして、その結果、地域力が弱まっていく原因にもなっているのかもしれない。
- 里づくり協議会の中で、「それを正式なものとするための認定は」とあるが、その前の文章で「それ」に該当するものがない。ここで言う「それ」とは、「里づくり計画を実現するための場」だと思うので、わかりやすいように文章を直した方がいいと思う。
- 里づくり計画を実現するための場の認定は、当初、匝瑳市における広い意味での土地利用計画にまで関わってくる問題だと考えていたので、匝瑳市長の認定が必要だと考えていたが、再度検討することとする。
- 食品企業と生産農家の連携による地域内発型ビジネスについては、赤ピーマンの取組みが行われているところだが、課題としては値段設定と販路の確保などがあげられる。

- ・本文全体に情緒的な表現が少し含まれているので、なるべく削除しようと思う。
- ・ヨーロッパでは「農村滞在」の一環として「週末の田舎暮らし」に力を入れていて、長期滞在型の田舎暮らしも可能である。匝瑳市の里山も、海外のようにもっときれいな景観になれば、市で行っている空き家バンクの促進にもつながると思う。
- ・山百合プランとは、山を切り開くなど、コミュニティ・ビジネスとして実現するための条件整備のことであるが、本文を読んでいる限りでは、山百合プランの実現が何につながっていくのかが見えない。プランの実現が人を呼び込むきっかけとなるというところまで書く必要があるのではないか。
- ・「農家レストランの設置」の中で、グリーン・ツーリズムの発展段階について説明している部分があるが、この部分をもっと前に移動させることで、山百合プランや農家レストランの位置づけがより明確になると思う。
- ・大和根土地改良区のところで「儲け」という言葉があるが、これは「利益」に置き換えた方がいいと思う。
- ・跡地利用のところで、具体的な跡地が書かれているが、ここに「旧飯高小学校」も加えていただきたい。旧飯高小学校の利活用については、検討の途中で県教育委員会からの申し入れがあったことにより、結果的には懸案事項からはずされることとなったが、当初は小学校と保育所跡地の両方の利活用を依頼していた経過がある。
- ・跡地利用のところで、「機材の置き場所にしろ」と書かれている部分があるが、現在、違う場所に置き場所を確保しようという具体的な動きがあるということなので、削除することとする。
- ・米倉分校跡地のところで、つどいの広場の対象者について説明されているが、「入園前」と書いてしまうと規定の対象範囲より広がってしまうので、確認する必要がある。
- ・「海岸地域の振興」については、当初、補論で扱うということになっていたが、論文にならないので別のかたちで最後につけ加えようと思う。
- ・一通り原稿を見直すことができたので、本日出された意見などを基に修正し、修正意見が反映された最終報告（案）を各委員へ事前送付する。最終報告（案）の構成については、9月に提出された中間報告も含むかたちとし、体裁については事務局で調整をお願いする。次回 16 日の会議で最終チェックを行い、市長へ提出したいと思う。

(2) その他

次回の会議日程は11月16日（金）とし、午後7時から匝瑳市役所議会棟第2委員会室で行う。